

年間指導計画 第6学年 道徳

学期	学習計画(全35時間)	目標
前期	幸せをおくるリーダーに 散らかし魔 命の重さはみな同じ 手品師 小さい子からもらった幸せ 修学旅行の夜 土石流の中で救われた命 白神山地 愛華さんからのメッセージ 夢をつかまえよう！ 言葉のおくりもの 白旗の少女 江戸しぐさ 自由に使うからには 車いすでの経験から 「あの日のわたし」と「今のわたし」 うちら“ネコの手”ボランティア	「よりよい生き方を実践する人間」の育成を目指し、その基盤となる道徳的心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養います。 1. 自分自身に関すること (1) 生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛ける。 (2) より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する。 (3) 自由を大切にし、自律的で責任のある行動をする。 (4) 誠実に、明るい心で楽しく生活する。 (5) 真理を大切にし、進んで新しいものを求め、工夫して生活をよりよくする。 (6) 自分の特徴を知って、悪いところを改めよい所を積極的に伸ばす。 2. 他の人とのかかわりに関すること (1) 時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接する。 (2) だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場にたって親切にする。 (3) 互いに信頼し、学び合って友情を深め、男女仲よく協力し助け合う。 (4) 謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切にすること。 (5) 日々の生活が人々の支えあいや助け合いで成り立っていることに感謝し、それにこたえる。
後期	まんがに命を せんばいの心を受けついで おばあちゃんのさがしもの 明日香と弥生 ぼくは後悔しない 銀のしょく台 お母さんへの手紙 青の洞門 「すんまへん」でいい 神父さまはマスクマン 東京大空襲の中で 葉っぱのフレディ あこがれのパティシエ 森に生きる 義足の聖火ランナー 空きかんのゆくえ 心に通じた「どうぞ」のひとつこと 新しい日本に	3. 自然や崇高なもののかかわりに関すること (1) 生命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する。 (2) 自然の偉大さを知り、自然環境を大切にする。 (3) 美しいものに感動する心や人間の力を越えたものに対する畏敬の念をもつ。 4. 集団や社会とのかかわりに関すること (1) 公德心をもって法やきまりを守り、自他の権利を大切にしながら進んで義務を果たす。 (2) だれに対しても差別をすることや偏見をもつことなく公正、公平にし、正義の実現に努める。 (3) 身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす。 (4) 働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つことをする。 (5) 父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをする。 (6) 先生や学校の人々への敬愛を深め、みんなで協力し合いよりよい校風をつくる。 (7) 郷土や我が国の文化と伝統を大切にし、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心をもつ。 (8) 外国の人々や文化を大切にする心を持ち、日本人としての自覚をもって世界の人々との親善に努める。

評価について

- ・道徳教育における評価は、教師が児童の成長を見守り、よりよく生きようとする努力を評価し、勇気づける働きをもつものです。授業中の児童の発言、生活の様子日記、作文、心のノートなどで道徳性の共感的理解に努め、その結果を授業に生かすようにしています。
- ・道徳性の評価は、広い視野に立って、多面的に長い目で多くの人々の協力を得て行います。また、全体の評価と個人評価に努めています。

保護者の方へ

- ・道徳性が身につくということは、日常生活の場で実践に移すことができるということだと思います。ご家庭でも気になる場面での適切な指導をお願いします。